

平成21年2月13日

各位

上場会社名	TOWA株式会社
代表者	代表取締役社長 河原 洋逸
(コード番号)	6315)
問合せ先責任者	取締役専務執行役員経営企画室長 西村 永和
(TEL)	075-692-0251)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

### 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	△1,000	△1,150	△1,250	△49.97
今回発表予想(B)	11,000	△3,300	△3,700	△4,000	△159.91
増減額(B-A)	△7,500	△2,300	△2,550	△2,750	――
増減率(%)	△40.5	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	25,753	2,381	2,125	2,118	84.70

### 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	△1,050	△1,250	△1,300	△51.97
今回発表予想(B)	11,000	△3,500	△3,700	△4,000	△159.91
増減額(B-A)	△6,500	△2,450	△2,450	△2,700	――
増減率(%)	△37.1	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	23,576	1,641	1,234	1,256	50.21

### 修正の理由

金融危機に端を発した大幅な景気後退は、世界経済全般へ波及するとともに、急速な消費の冷え込みによって製造業を中心とした業績悪化が鮮明になっております。

半導体業界においても、パソコン、携帯電話、デジタル家電、自動車等の最終製品の需要減退により、半導体メーカー各社の設備投資凍結や延期、生産能力の縮小等、当面は一層厳しい状況で推移するものと予想されます。したがって、当社グループでは通期の業績予想を平成20年11月14日発表の数値から上記の通り修正いたします。

このような状況を踏まえ、当社グループでは半導体メーカーの生産コスト削減ニーズに合致した新製品の市場投入を図るとともに、固定費削減に努めてまいりましたが、市況の回復遅れや更なる悪化を見据え、緊急対策として次の項目に取り組んでおります。

- (1)業績悪化の経営責任の明確化を図るため、全取締役の賞与全額カット、代表取締役会長の役員報酬全額返上をはじめ、以下役員報酬カットを実施しております。(代表取締役社長3割、取締役専務執行役員および取締役常務執行役員2割、他の取締役および執行役員1割)
- (2)従業員の賞与カットおよび時間外勤務の抑制および派遣社員の削減により、人件費の圧縮を図っております。
- (3)市況悪化に伴う生産調整の一環として、プレス・金型部品の生産拠点である中国蘇州工場の人員を半減させた上で、平成20年12月以降、ほぼ全従業員を自宅待機とし、大幅な経費圧縮を実施しております。
- (4)全ての拠点、事業部門で徹底した経費対策を実施しており、業務の合理化、効率化を進めております。
- (5)平成20年12月に予定しておりました九州事業所第2工場の建設工事の着工を当面の間、見合わせることにしました。

以上